

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

2024年 7月 17日

長野県知事 様

住 所 長野県東御市加沢443
氏 名 株式会社カクイチ製作所
代表取締役社長 大田 智浩

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所	長野県東御市加沢472-2 463-1 446-2 446-4 443-2	
事業区域の位置及び面積	525.2㎡ 位置図、事業区域図の通り	
太陽光発電施設の合計出力	70.0kW (太陽電池の合計出力 99.96kW)	
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途 <input type="checkbox"/> 売電 <input checked="" type="checkbox"/> 自家消費 設備ID (なし) /8	
	設置工事着手予定日	令和6年8月9日
	設置工事完了予定日	令和6年12月31日
	運転開始予定日	令和7年1月31日
	施設撤去予定日	令和37年1月30日
太陽光発電施設の設置に関する計画	別添「太陽光発電施設設置計画書」参照	
太陽光発電施設の構造に関する事項	地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造(強度)計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。	
景観保全のための措置の検討に関する事項	別紙 【景観の保全のための措置の検討状況書】参照	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)	該当なし	
備考	連絡先 (電話番号) 0268-62-1730 (FAX番号) 0267-62-1691 (電子メールアドレス) k.miyoshi@kaku-ichi.co.jp	

- 注1 該当する□内にレ印を記入すること。
- 2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
- 3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
- 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
- 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
- 6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。
- (添付書類) 1 位置図
2 事業区域図
3 太陽光発電施設の配置図
4 条例第11条の書面
5 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	<input type="checkbox"/> 調整池 <input type="checkbox"/> 沈砂池 <input type="checkbox"/> 排水設備 <input type="checkbox"/> 擁壁 <input type="checkbox"/> 管理用道路 <input type="checkbox"/> その他 ()												
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	<input type="checkbox"/> 地域森林計画対象民有林 <input type="checkbox"/> 地すべり防止区域 <input type="checkbox"/> 急傾斜地崩壊危険区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域 <input type="checkbox"/> 砂防指定地 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし												
環境配慮区域の該当 ※50キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	<input type="checkbox"/> 国有林・地域森林計画対象民有林 <input type="checkbox"/> 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 <input type="checkbox"/> 長野県自然環境保全地域 <input type="checkbox"/> 郷土環境保全地域 <input type="checkbox"/> 水道水源保全地区 <input type="checkbox"/> 水資源保全地域 <input type="checkbox"/> 希少野生動植物の生息地等保護区 <input type="checkbox"/> 鳥獣保護区 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし												
工程表	別紙工程表のとうり												
工事車両の運行計画	想定される台数 (延べ) 運行時間 経路												
造成工事	<table border="1"> <tr> <td>盛土の有無</td> <td>無</td> <td>想定盛土量 m³</td> </tr> <tr> <td>切土の有無</td> <td>無</td> <td>想定切土量 m³</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業区域外からの搬入量</td> <td>— m³</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業区域からの搬入量</td> <td>m³</td> </tr> </table>	盛土の有無	無	想定盛土量 m ³	切土の有無	無	想定切土量 m ³	事業区域外からの搬入量		— m ³	事業区域からの搬入量		m ³
	盛土の有無	無	想定盛土量 m ³										
	切土の有無	無	想定切土量 m ³										
	事業区域外からの搬入量		— m ³										
事業区域からの搬入量		m ³											
排水処理設備の有無	無												
	<table border="1"> <tr> <td>排出経路</td> <td></td> </tr> </table>	排出経路											
排出経路													
送電設備	<input type="checkbox"/> 鉄塔 <input checked="" type="checkbox"/> 電柱 <input type="checkbox"/> 地下埋設												

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	工場の中心で外部から見えない為
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	工場の中心で外部から見えない為
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	工場の中心で外部から見えない為
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	工場の中心で外部から見えない為
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	工場の中心で外部から見えない為
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	工場の中心で外部から見えない為
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	工場の中心で外部から見えない為
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	工場の中心で外部から見えない為
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	工場の中心で外部から見えない為

--	--	--	--

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	工場の中心で外部から見えない為
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	工場の中心で外部から見えない為
	フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	用います
		(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	用います
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	工場の中心で外部から見えない為
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	工場の中心で外部から見えない為
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	工場の中心で外部から見えない為
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	工場の中心で外部から見えない為
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	工場の中心で外部から見えない為
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	工場の中心で外部から見えない為
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	工場の状況を見ながら検討する
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。	上田建設事務所建築課に確認した

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維持管理計画

作成日 2024年 4月 15日

太陽光発電施設の設置場所	長野県東御市加沢 472-2 463-1 446-2 446-4 443-2 443-6	
事業者名 (法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先)	〒389-0514 長野県東御市加沢 443 株式会社カクイチ製作所 代表取締役社長 大田 智浩 0268-62-1730	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社カクイチ製作所 坂下 真二
	電話番号	0268-62-1730
合計出力	70.0 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日 (事業終了予定日)	令和 37 年 1 月 30 日	
損害保険の加入状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	指定の産廃業者に依頼する	
維持管理計画及び状況の公表方法	事務所等に置いて請求があった際に開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

○強風による飛散

・太陽電池モジュール、課題の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

○豪雨による水害

・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

・事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、県など）に連絡する。

・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないよう対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年1回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年1回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年1回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年1回	
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年1回	
☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年1回		
漏電遮	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などが無い。		年1回	

パワーコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	配線	配線に著しいきず、破損がない。	年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。	年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。	年1回	
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。	年1回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない	年1回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。	年1回	

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	<input type="checkbox"/>	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年〇回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	<input type="checkbox"/>	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
		湧水箇所の軟弱化がない。				
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
水抜き穴につまりがない。						
水抜き穴から異常な土砂流出がない。						
地山に変形がない。						

排水設備	<input type="checkbox"/>	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。				
			亀裂、ずれがない。				
			破損がない。				
			排水設備外への漏水がない。				
調整池	<input type="checkbox"/>	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。				
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。				
			草木の繁茂がない。				
	<input type="checkbox"/>	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。				
			<input type="checkbox"/>	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
					越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
	放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。						
	<input type="checkbox"/>	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。				
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。				
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。				
			油等の浮遊がない。				
	<input type="checkbox"/>	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。				
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。				
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。				
			油等の浮遊がない。				
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。				
防護柵、塀	<input type="checkbox"/>	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年1回			
	<input type="checkbox"/>	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。				
進入路・管理道	<input checked="" type="checkbox"/>	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回			
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年1回			
			雨水等による洗掘がない。	年1回			
			草木の繁茂がない。	年1回			
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。				
			段差、傾斜がない。				
			空洞の発生（土砂の流出）がない。				
			隆起の発生がない。				
設	<input checked="" type="checkbox"/>	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回			

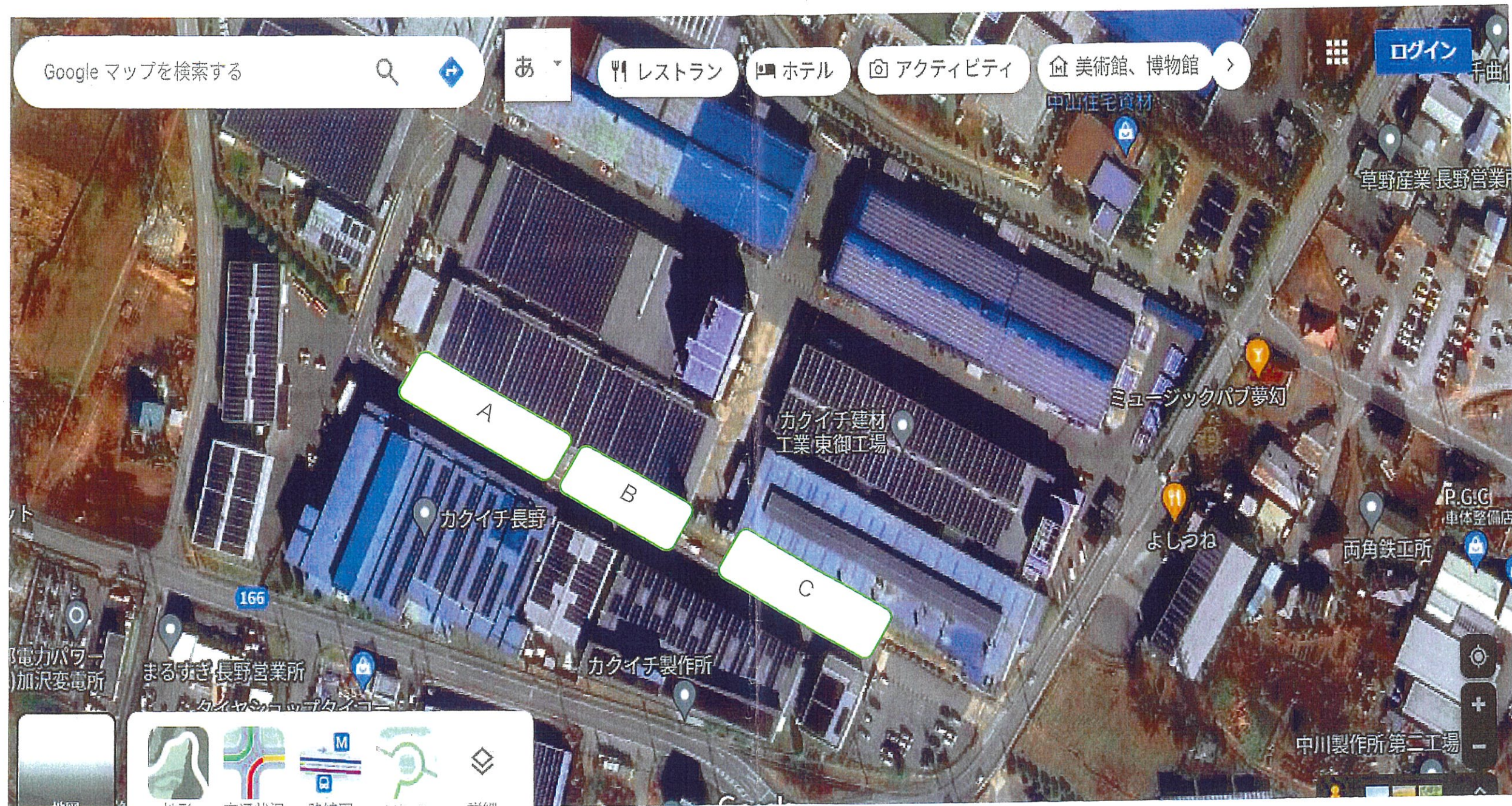
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	
			雨水等による洗掘がない。		年1回	
			草木の繁茂がない。		年1回	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。



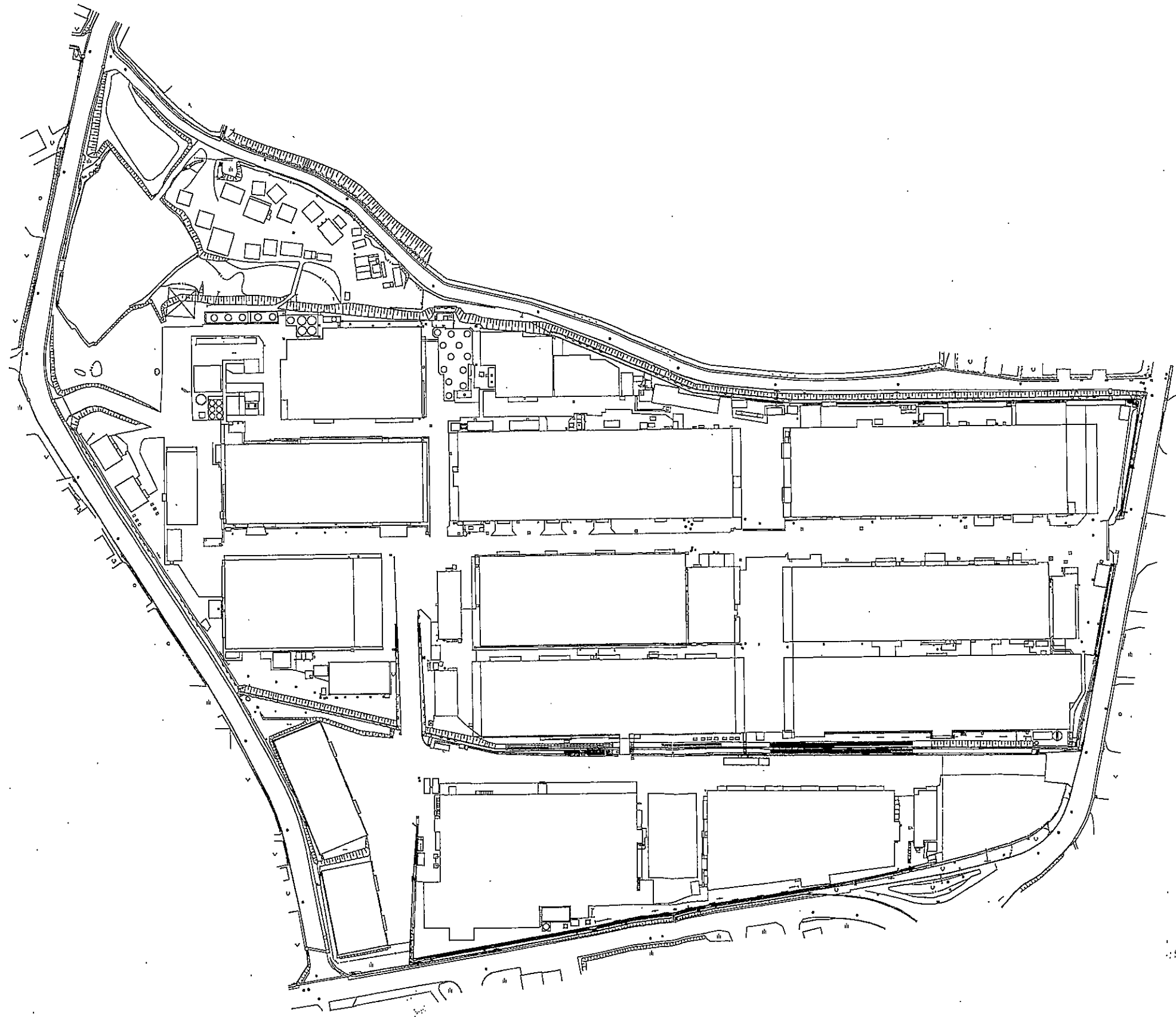
地図データ ©2024 200 m

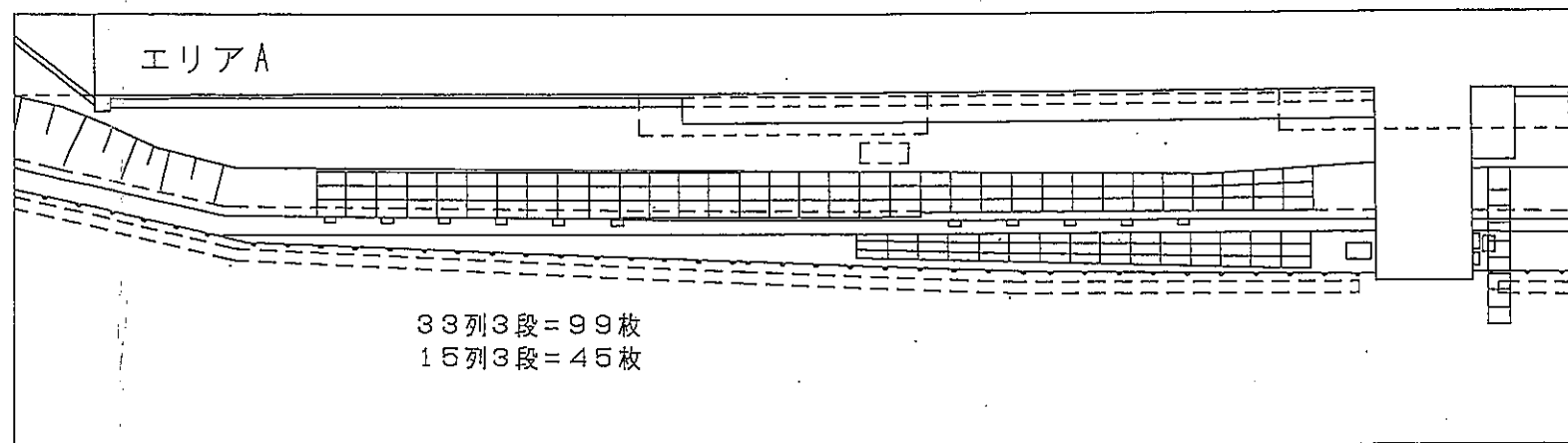
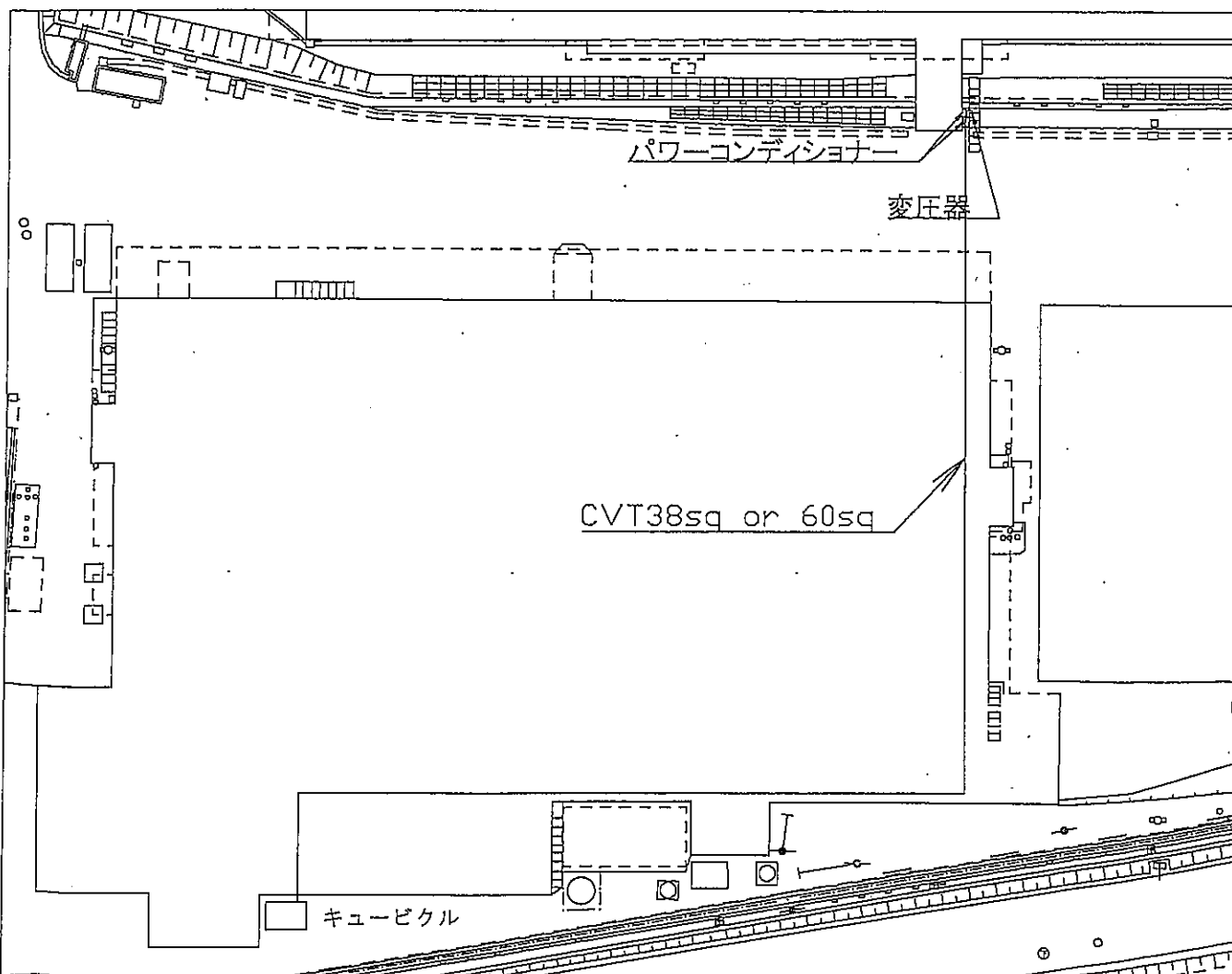
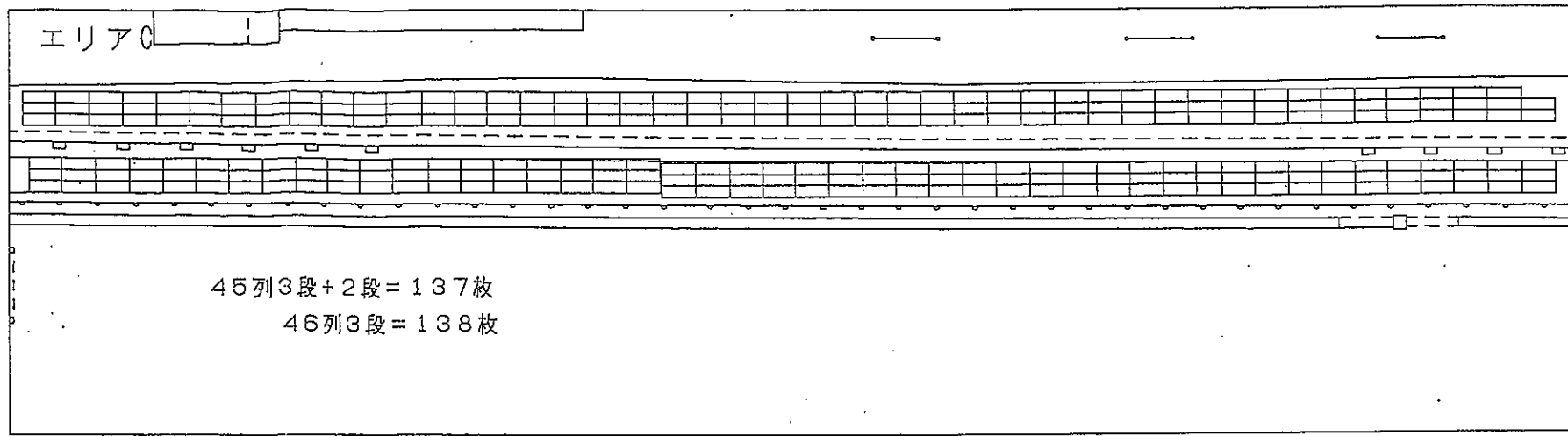
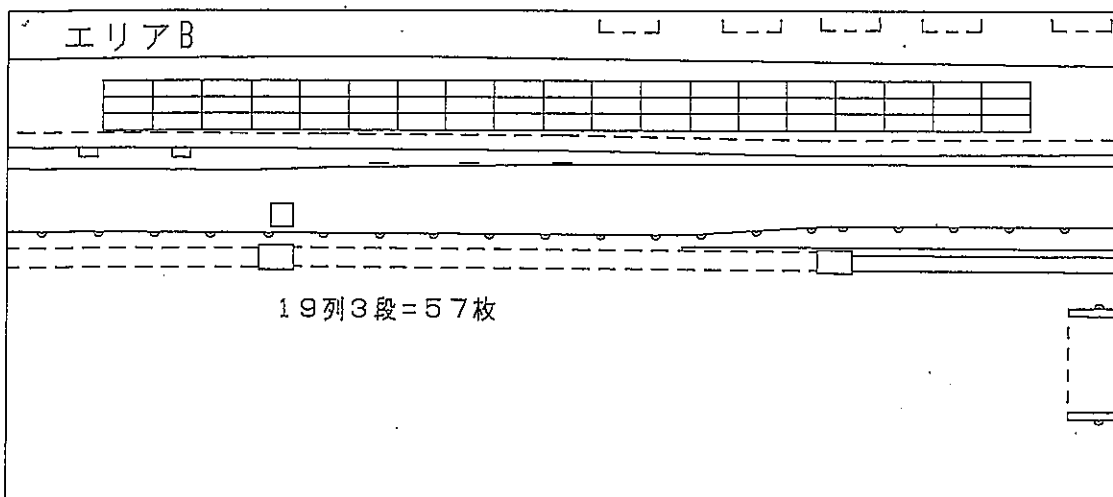
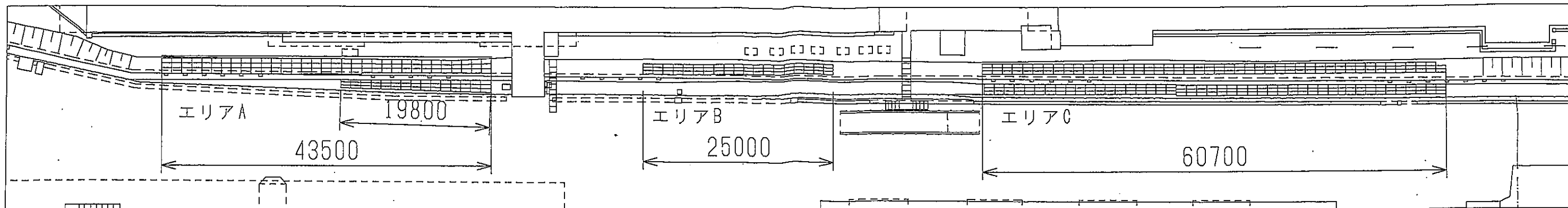
東御市加沢 カクイチ製作所 太陽光パネル設置予定場所



(景観の確認用)

カクイチ製作所 位置図

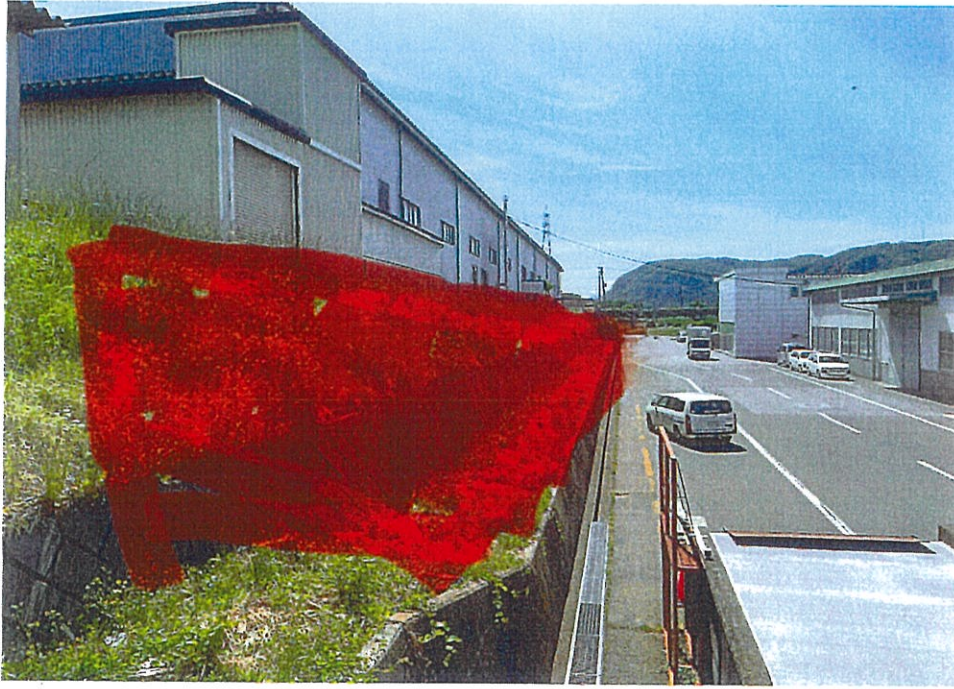




太陽電池容量	99.96kW
発電設備容量	70kW
取付方法	
パワーコンディショナ	三相20kW×1台 三相50kW×1台
直列数×並列数	28直 5回路 28直 12回路 パネル総数476枚
延長ケーブル	

名称	太陽光発電設備配置図	
品番	GF-30198	
図番		
日付		承認
氏名		

株式会社 **カクイチ**



(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

2024年 7月 16日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	住所 長野県東御市加沢443 氏名 株式会社カクイチ製作所 代表取締役社長 大田 智浩	
事業太陽光発電施設の設置の場所	長野県東御市加沢 472-2 463-1 446-2 446-4 443-2 (設備ID なし)	
説明会開催についての周知の方法とその範囲	メールでカクイチ建材工業に通知する。	
説明会の概要	日時	令和6年6月14日 午後13:30から開催予定
	場所	株式会社カクイチ製作所 応接室
	参加者数	0人
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	氏名 三好和則 役職 エネルギー管理企画推進者

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

(様式第1号) (第9条関係)

事業基本計画書

2024年 5月 22日

長野県知事 様

住所 長野県東御市加沢443
氏名 株式会社カクイチ製作所 代表取締役社長 大田 智浩

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第9条第1項(第21条第3項、第27条及び附則第6項において準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所	長野県東御市加沢 472-2 463-1 446-2 446-4 443-2 443-6	
事業区域の位置及び面積	525.2 m ² 位置図、事業区域図の通り	
太陽光発電電力施設の合計出力	70.0 kW (太陽電池の合計出力 99.96 kW)	
太陽光発電事業の内容及び実施予定期間	発電電力の用途	<input type="checkbox"/> 売電 <input checked="" type="checkbox"/> 自家消費 設備 ID (なし)
	設置工事着手予定日	令和6年8月9日
	設置工事完了予定日	令和6年12月31日
	運転開始予定日	令和7年1月31日
	施設撤去予定日	令和37年1月30日
太陽光発電施設の設置に関する計画	別紙 【太陽光発電施設設置計画書】参照	
太陽光発電施設の構造に関する事項	地上設置型太陽光発電システム的设计ガイドライン等を参照の上、設計士による強度計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。	
景観の保全のための措置の検討に関する事項	別紙 【景観の保全のための措置の検討状況書】参照	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※(環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。)	該当なし	
維持管理計画に関する事項	別紙 【維持管理計画】参照	
関係市町村長及び関係住民の範囲並びにその根拠	範囲	カクイチ建材工業 青木運輸倉庫
	根拠	立地に依る

事業基本計画説明会の開催の日時及び場所	日 時	令和6年6月14日 午後 13:30から 開催予定
	場 所	希望する方は令和6年6月10日までにご連絡ください。
意見の提出先	【郵送提出先】 〒389-0514 長野県東御市加沢443 株式会社カクイチ製作所 あて 【電子メール等】 k.miyoshi@kaku-ichi.co.jp	
土地の権原の取得予定	自社所有とグループ会社所有	
地域社会に資する事項	自社周りの道路や花壇を定期的に清掃	
備考	連絡先 (電話番号) 0268-62-1730 (FAX番号) 0268-62-1691 (電子メールアドレス) k.miyoshi@kaku-ichi.co.jp	

注1 該当する口内にレ印を記入すること

- 2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
- 3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
- 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
- 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
- 6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

